POWER EGG 3.0製品価格表 <新規・追加>

【 利用機能 】

製品区分	製品名	ライセンス数（ランク）		製品価格		プログラム保守サービス価格（年額）【必須購入】		ライセンス形態
				商品コード	標準単価	保守商品コード	標準単価	
利用機能	グループウェア	1～300	A	J3-GW-0001	40,000	H-GW	5,600	ユーザーライセンス（10LS単位）
		301～500	B	J3-GW-0301	35,200			
		501～1000	C	J3-GW-0501	32,800			
		1001～	D	J3-GW-1001	31,600			
	汎用申請ワークフロー	1～300	A	J3-HWF-0001	60,000	H-HWF	8,400	
		301～500	B	J3-HWF-0301	52,800			
		501～1000	C	J3-HWF-0501	49,200			
		1001～	D	J3-HWF-1001	47,400			
	Webデータベース	1～300	A	J3-WDB-0001	80,000	H-WDB	11,200	
		301～500	B	J3-WDB-0301	70,400			
		501～1000	C	J3-WDB-0501	65,600			
		1001～	D	J3-WDB-1001	63,200			
	CRM	1～300	A	J3-CRM-0001	20,000	H-CRM	2,800	
		301～500	B	J3-CRM-0301	17,600			
		501～1000	C	J3-CRM-0501	16,400			
		1001～	D	J3-CRM-1001	15,800			
	経費精算ワークフロー ※新規販売終了 ※導入済ユーザ様の追加のみ	1～300	A	J3-KWF-0001	50,000	H-KWF	7,000	
		301～500	B	J3-KWF-0301	44,000			
		501～1000	C	J3-KWF-0501	41,000			
		1001～	D	J3-KWF-1001	39,500			

備考

【購入単位】10ユーザライセンス単位（ユーザ数は利用者ID数によってカウント）
■単価の考え方： 各利用機能単位の購入時のライセンス数によって単価が異なります。
例）新規購入 グループウェア 1,000LS 標準単価32,800円（C） ＝100×32,800＝3,280,000円
追加購入 グループウェア 50LS 標準単価40,000円（A） ＝5×40,000＝200,000円
【最低購入ライセンス数】10ユーザライセンス
・最低１つ以上の製品を選択して購入が必要になります。購入するライセンス数は、それぞれの利用機能ライセンス毎にカウント致します。
例） ご使用社員数300名のうち、300名がグループウェアを使用、100名が汎用申請ワークフローを使用の場合は、グループウェアライセンス300、汎用申請ワークフローライセンス100が必要
【その他】
・ユーザライセンス増加の結果、サーバ構成の見直しが必要になる場合がございます。サーバ増強の場合、別途担当営業にお問合せください。
・各利用機能には「マスター―インポートユーティリティ」「データインポートツール」が含まれております。
・グループウェア機能、汎用申請ワークフロー機能には「ファイル管理機能」が含まれております。
・CRM機能について：CRMをご利用の際、『Webデータベース』の購入が必須となります。
・経費精算ワークフロー機能について
①V3.3cより新規販売は終了しております。V3.2c以前に導入いただいたユーザ様に限り追加ライセンスが販売可能となります。
②経費精算ソースセットを利用したアドオン開発を行う場合は、SDK API使用権許諾 の購入が必要です。
③駅すぱあと連携機能を利用される場合、「駅すぱあと イントラネット」の申し込みが必要となります。お申込みは、ヴァル研究所社のホームページより直接お申し込みください。
保守契約などは、最終利用顧客とヴァル研究所社との直接契約となります。詳細は、ヴァル研究所社にご確認ください。
（お問い合わせ先） 株式会社ヴァル研究所TEL：03-5373-3511

POWER EGG 3.0製品価格表 <新規・追加>

【 オプション製品 】

製品区分	製品名			製品価格		プログラム保守サービス価格（年額）【必須購入】		ライセンス形態
				商品コード	標準単価	保守商品コード	標準単価	
オプション製品	SDK API使用権許諾	1-300	A	J3-SDK-A	300,000	H-SDK-A	60,000	ユーザーライセンス（ID単位）
		301-500	B	J3-SDK-B	500,000	H-SDK-B	100,000	
		501-1000	C	J3-SDK-C	1,000,000	H-SDK-C	200,000	
		1001～	D	J3-SDK-D	1,500,000	H-SDK-D	300,000	
	SDK API使用権許諾（アップグレード製品）	A（1-300）→B（301-500）	-	J3-SDK-AB	200,000	H-SDK-AB	40,000	ユーザーライセンス（ID単位）
		B（301-500）→C（501-1000）	-	J3-SDK-BC	500,000	H-SDK-BC	100,000	
		C（501-1000）→D（1001～）	-	J3-SDK-CD	500,000	H-SDK-CD	100,000	
	多言語オプション（英語）	-	-	J3-MEN	500,000	H-MEN	100,000	1システム単位
	多言語オプション（中国語[簡体字]）	-	-	J3-MCH	500,000	H-MCH	100,000	1システム単位
	ファイル管理拡張オプション	-	-	J3-FMOP	3,000,000	H-FMOP	600,000	1システム単位 SkyPDF 1ライセンス含む
	SkyPDF単体（追加）	-	-	J3-FM-SKYPDF	1,000,000	H-FM-SKYPDF	180,000	1システム単位 SkyPDF 1ライセンス含む
	Ver2.x ⇒ POWER EGG3.0 データ移行ツール	-	-	S3-tool	100,000	-	-	-
備考	【SDK API使用権許諾】	①利用機能の最大ユーザ数に応じて、必要数量分を購入頂く必要があります。 ※例）ご使用社員数300名のうち、300名がグループウェアを使用、100名が汎用申請ワークフローを使用の場合、SDK API使用権許諾は ”1-300”の購入が必要です。 ②POWER EGGが公開するAPIの使用を同一システム内にて許諾します。提供資料は、開発マニュアル、テーブルレイアウトから構成されます。 ③汎用的なPOWER EGG連携ソフトウェア（以降、連携ソフト と記載 ※１）を導入する場合のライセンス購入について （1).SDK API使用権許諾オプションの購入は不要です。 ただし、連携ソフトを個別にカスタマイズして導入を行う場合、汎用性は失われますので、SDK API使用権許諾オプションは購入いただく必要があります。 （2)連携ソフト利用者は利用機能ライセンス（ライセンス種類は特定しない）の購入が必須です。 ※１：汎用的なPOWER EGG連携ソフトウェア とは POWER EGGと連携し汎用的に利用されるソフトウェアを指します。なお、「汎用ソフトウェア開発パートナー」契約の要件を満たす必要があります。詳細は契約書をご参照ください。 ④保守サービスには、POWER EGGのプログラム保守サービスに加え、メールによるQAサポートが含まれます。 ⑤利用機能ライセンス追加の結果、利用機能の最大ユーザ数が、購入いただいたAPI使用権許諾のライセンス数を超える場合、「SDK API使用権許諾 アップグレード」製品を購入いただく必要があります。							
	【ファイル管理拡張オプション】	①PDF変換サーバを設置することを推奨します。 ②PDF変換サーバには、PDF化するファイルを印刷する為のソフトウェア（Office等）のインストールが必要です。 ③Windows Server 2016, 2019, 2022 で動作します。Linuxでは動作しないのでご留意ください。 推奨構成→CPU:利用するOSの推奨以上 メモリ:2GB以上となります。 ＜＜変換対象ファイル種類＞＞ ・Microsoft Word（.doc .docx .docm .txt) ・Microsoft Excel（.xls .xlsx .xlsm) ・Microsoft PowerPoint（.ppt .pptx .pptm) ・PDF (.pdf) ※変換可能なバージョンはサーバにインストールされたOfficeのバージョンに依存いたします。 ④予備機、開発機等にファイル管理拡張オプションをインストールする場合は、別途SkyPDFをご購入いただく必要があります。価格については、お問い合わせください。 ⑤本製品を購入される場合、利用機能ライセンス「グループウェア」「汎用申請ワークフロー」製品のいずれかの購入が必要となります。 ⑥サーバにインストールするOfficeはOffice 2013 /2016 /2019 /2021 /365 Apps いずれも32bit版のみとし、Word/Excel/PowerPointすべてインストールしてください。 ※マイクロソフト社の動作条件として、Windows Server 2016の場合、Office 2013,2016,365 Apps、 Windows Server 2019の場合、Office 2019,365 Appsが動作対象となります。 ※SkyPDF Web Server 9(9.0.1)となります。							
	【Ver2.x ⇒ POWER EGG3.0 データ移行ツール】	①Ver2.xからPOWER EGG3.0へのデータ移行を行う際に必要なツールとなります。 ②製品保守契約をご締結いただいているお客様へは無償でご提供しております。（個別でご発注頂く必要はございません。） ③当製品は保守が設定されていません。マイナーバージョンアップ後に、当製品を使用する場合、再購入が必要となります。						

POWER EGG 3.0製品価格表

【 ミドルウェア 】

製品区分	製品名			製品価格		プログラム保守サービス価格（年額）【必須購入】		ライセンス形態
				商品コード	標準単価	保守商品コード	標準単価	
PostgreSQL製品	POWER EGG専用Database V12			PEDB-01	400,000	H-PEDB-01	100,000	1システム
Interstage製品	POWER EGG専用Application Server V13	※1	新規・追加	PEAP-02	375,000	H-PEAP-01	78,000	1ﾌﾟﾛｾｯｻﾗｲｾﾝｽ
	POWER EGG専用Application Server V13 (バージョンアップ**V9→V13**)		バージョンアップ	PEAPUP-05	187,500			
	POWER EGG専用Application Server V13 (バージョンアップ**V11→V13**)		バージョンアップ	PEAPUP-06	0			
	POWER EGG専用Application Server V13 (バージョンアップ**V12→V13**)		バージョンアップ	PEAPUP-07	0			
	POWER EGG専用Application Server V12	※2	追加	PEAP-01	375,000			
	POWER EGG専用Application Server V12 (バージョンアップ**V9→V12**)		バージョンアップ	PEAPUP-02	187,500			
	POWER EGG専用Application Server V12 (バージョンアップ**V11→V12**)		バージョンアップ	PEAPUP-04	0			
備考	【POWER EGG専用Database】について		・POWER EGG専用Databaseは、Symfoware(PostgreSQL)の技術を採用しております。 ・ハード構成に応じて必要数量ご購入して頂く必要があります。 ・インストール環境のサーバOSにより、使用可能なDatabase製品のバージョンが異なります。見積もり依頼時にインストールするサーバOSをご連絡ください。 ・プログラム保守サービスにはメジャーバージョンアップ権は含まれません。 ・本製品を動作させるOSは、ホームページをご確認ください。						
	【POWER EGG専用Application Server】について		・ハード構成に応じて必要数量ご購入して頂く必要があります。 ・プログラム保守サービスにはメジャーバージョンアップ権は含まれません。 ・本製品を動作させるOSは、ホームページをご確認ください。 ※1． POWER EGG 3.0 Ver3.3c以降をご利用ユーザ様向け ※2． POWER EGG 3.0 Ver3.0c～Ver3.2c/POWER EGG 2.0 Ver2.8c、Ver2.10cをご利用ユーザ様向け						
	【OSS（Glassfish）】について		OSS(GlashFish)利用について ①弊社が提供するインストーラで構成したサーバのみ動作対象とします。 ②インストールマニュアルに記載されている設定・運用方法のみサポート対象となります。GlassFish本体に関する問い合わせ、改善要望はサポート対象外となります。 ③障害発生の要因がGlassFish本体に起因した場合、障害原因の特定が行えない場合や、有効な対策の提示が行えない場合があります。						